

## 議 事 録

会 議 名	令和6年第2回常滑警察署協議会（定例会）																									
日 時 ・ 場 所	令和6年5月28日（火） 午後3時30分から午後5時15分までの間 ----- 常滑警察署 講堂																									
出 席 者	<p>1 委員</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">北川 徳彦</td> <td style="width: 33%;">会長</td> <td style="width: 33%;">市田 千文</td> <td>副会長</td> </tr> <tr> <td>岡田 展利</td> <td>委員</td> <td>中村 翔太</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>杉浦 健朗</td> <td>委員</td> <td>竹内 稔晃</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>内田 剛資</td> <td>委員</td> <td>松下 幸子</td> <td>委員</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上8名（定数8名）</p> <p>-----</p> <p>2 警察署員</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">判治署長</td> <td style="width: 33%;">島崎副署長</td> <td style="width: 33%;">戸田警務課長</td> </tr> <tr> <td>奥村会計課長</td> <td>後藤生活安全課長</td> <td>廣岡地域課長</td> </tr> <tr> <td>加藤刑事課長</td> <td>江口交通課長</td> <td>角谷警備課長</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上9名</p> <p>-----</p> <p>3 有識者等</p> <p style="text-align: center;">なし</p>	北川 徳彦	会長	市田 千文	副会長	岡田 展利	委員	中村 翔太	委員	杉浦 健朗	委員	竹内 稔晃	委員	内田 剛資	委員	松下 幸子	委員	判治署長	島崎副署長	戸田警務課長	奥村会計課長	後藤生活安全課長	廣岡地域課長	加藤刑事課長	江口交通課長	角谷警備課長
北川 徳彦	会長	市田 千文	副会長																							
岡田 展利	委員	中村 翔太	委員																							
杉浦 健朗	委員	竹内 稔晃	委員																							
内田 剛資	委員	松下 幸子	委員																							
判治署長	島崎副署長	戸田警務課長																								
奥村会計課長	後藤生活安全課長	廣岡地域課長																								
加藤刑事課長	江口交通課長	角谷警備課長																								
諮 問 事 項 等	自転車利用者の交通事故防止対策																									
答 申 等 の 概 要	<p>1 学校や会社と連携した自転車利用者に対する車両認識の醸成をはじめとした安全指導、交通ルールの遵守の推進</p> <p>2 乗車用ヘルメットの着用促進に向けた広報啓発活動の推進</p> <p>3 自転車・電動キックボードに対する取締り、警告活動の実施</p>																									
そ の 他	次回開催予定 令和6年8月頃																									

会議の経過及び発言の要旨	
1	委嘱状の交付
	署長から新規委員に対して公安委員会からの委嘱状を交付した。
2	新委員の自己紹介
3	署幹部の自己紹介
4	会長挨拶
5	署長挨拶
6	前回の答申に対する具体的施策の推進状況（警備課長説明）
	(1) 諮問事項
	大規模災害の発生に備えるため、警察に期待すること
	(2) 答申事項
	ア 「自助」「共助」の重要性の広報
	イ 震災時の常滑住民（特に高齢者や障害者）の避難誘導対策
	ウ 常滑市は観光の町として、休日にはたくさんの観光客が訪れるため、 観光客（外国人等）の避難誘導対策を推進
	(3) 推進施策
	ア 答申事項アについて
	常滑市内の大型商業施設において、警察、消防、海上保安庁、市役所 と合同で防災イベントを開催
	イ 答申事項イについて
	(ア) 常滑市役所防災危機管理課と災害発災時の対応や今後の防災対策に ついて情報共有するとともに、防災対策について検討
	(イ) 4月から防災アプリ「とこなめ防災」の本格運用を開始
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
ウ 答申事項ウについて	
外国人観光客が災害発生時の避難場所等の確認に役立つ、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、ベトナム語の5言語に対応したデジタルハザードマップのインターネット配信を周知	
7 諮問	
(1) 諮問事項	
自転車利用者の交通事故防止対策	
(2) 諮問事項の設定理由（交通課長説明）	
ア 県内の昨年の交通事故死者数は145名で、前年対比8名増加である。	
イ 当事者別では、自転車利用者の死傷者数は6,123名で、前年対比325名の増加である。	
ウ 自転車が第一原因となる人身交通事故には、自転車による信号無視・一時不停止等の何らかの法令違反の存在がある。	
エ 自転車利用者が被害者となる人身交通事故では、そのほとんどがヘルメット未装着である。	
オ 自転車は車両の仲間であることの認識を醸成させること、交通ルールを遵守させること、ヘルメットの着用を促進させることが重要である。	
8 協議	
委員	・ 宿泊施設で無料のレンタル自転車や有料のレンタル電動キックボードの貸出しをしているが、利用者の交通ルールの認識が低く、特に自転車の利用者の認識が低いと思う。
委員	・ 2026年までに自転車の違反者に対して青切符が導入されるが、法
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
令を強化することが一番の対策だと思う。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車はヘルメットをほとんど被っていない。理由として、髪型がくずれからとの意見があった。将来ヘルメットに代わる技術革新があれば良いと思う。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヘルメットを被るとかっこいいというイメージづくりが必要だと思う。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車に乗る側として、車道左側通行は恐怖を感じる。今後検討が必要だと思う。</li> </ul>	
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の自転車は急に曲がると聞いたことがある。知っているだけで気を付けることができるので、高齢者の特性についての教育も必要だと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常滑市の交通特性に合わせた、乗る側、乗らない側に対する教育が必要だと思う。</li> </ul>	
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子供のころは、自転車はどこでも行けるかっこいい乗り物だった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常滑警察自転車部隊やキックボード部隊を編成して、取締りや交通安全教育を行えば子供たちも憧れを持つと思う。</li> </ul>	
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育が一番大事だと思うので、親子に対する教育をしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車利用者が集まる駅や学校などで啓蒙活動を行う。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロードバイクはヘルメット着用がかっこいいから被っている。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車の取締りが実際にどれくらい行われているかを知らせることが、注意喚起につながると思う。</li> </ul>	
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国人は交通ルールを知らない者が多い。ただ駄目ではなく、な</li> </ul>
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
ぜ駄目なのかを説明しないと理解できない。	
・ 外国人はインターネットを良く見ているので、インターネット配信が一番効果的だと思う。	
・ 技能実習生に交通ルールやヘルメット着用を指導しても、守ってもらえない。ヘルメット非着用者に対しては、呼び止めて直接指導してほしい。直接指導されれば守ってもらえるようになると思う。	
委員	・ 中学生の自転車が学校帰りに狭い道を横3列で走っている。何度も繰り返し教育し、ルールを伝えていく啓蒙活動が必要だと思う。
	・ 親子で学校行事の一環として、交通安全教育が受けられる機会をつくってはどうか。
	・ 名古屋市内のように自転車の通行帯を作れば、走行マナーの向上になると思う。
委員	・ 歩車分離式信号とスクランブル式交差点の自転車の渡り方の啓蒙活動を行ってほしい。
9 答申	
(1) 学校や会社と連携した自転車利用者に対する車両認識の醸成をはじめとした安全指導、交通ルールの遵守の推進	
(2) 乗車用ヘルメットの着用促進に向けた広報啓発活動の推進	
(3) 自転車・電動キックボードに対する取締り、警告活動の実施	
10 その他	
次回開催予定は、令和6年8月頃とする。	
	記録者 警務係長